

石音

発行 石狩管内教育研究協議会
音楽部会事務局
文責 北広島市立双葉小学校
松本 亮子
令和2年 4月 発行

「どこかで春が」

どこかで 春が 生まれてる

どこかで 水か ながれだす

どこかで 雲雀が 啼いている

どこかで 芽の出る 音がする

山の三月 東風 吹いて

どこかで 春が 生まれてる

大きな感動と大勢の方の祝福を受けながらの門出となるはずであったのに、短時間での実施となってしまった卒業式。子ども達と一緒に一年のまとめをするはずであったのに、会うことすらできなくなった空白の1ヶ月。「初めての出来事」に学校現場のみならず、全世界が脅かされ、戸惑いながらの毎日を今も過ごしています。平成から令和への時代をつないだ2019年度は、何とも言えない寂しさと不安で終わってしまったような気がしています。

しかし、4月になりふと目を外に向けてみると、温かい日差しが「春」を運んできてくれていることに気づかされます。例年になく土が見

えるグラウンド。こっそりと顔を出したふきのとう。着実に季節は希望に満ちた春へと変わろうとしています。上の詩は、1922年に詩人「百田宗治」によって発表された詩で童謡にもなり有名な歌です。約100年がたち、めまぐるしく時代は変わっても、日本特有である「四季」は、今の昔も同じであることに嬉しくなります。今、誰もが感じている不自由さを、希望あふれる春がどこかで一つずつ生まれ、それをかき消してくれることを期待したいです。

さて、2020年は、新学習指導要領が完全実施となります。音楽教育の中での「豊かな心」を育み、「生きる力」を育てるにはどうすればよいのか、部会員みんなで研修をしていくこととなります。音楽科における目標は大きく3つに別れます。短くまとめると、(1) 楽しく(進んで)(創造的に)音楽にかかわること (2) 基礎的な音楽の表現の能力を育て、表現の喜びを味わうこと (3) 様々な音楽に親しみ、音楽を味わって聴くこと です。いずれにも、技術的な要素はなく、音楽に関わり、表現の喜びを味わい、音楽を味わって聴くことが目標となっています。今年度は、その目標の達成のために、様々なアプローチから授業を展開していくことになると思います。

不安なスタートとなった2020年春。そんな時こそ、音楽の力で学校を明るくできれば、と思います。まさに「生きる力」の音楽が、今必要とされているのかもしれない。新しい学校、新しい仲間、新しい子ども達など、新しい出会いを運んでくる「春」。歌曲との出会い、合唱との出会い、楽器との出会い、合奏との出会い、音楽鑑賞との出会いなど、様々な出会いが、教師にも子ども達にとっても「感動的な出会い(愛)」になることを祈っています。(大きな声で歌える日が早く訪れますように・・・)

今年度の研究が、実り多きものとなるよう、音楽部会一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。役員も新メンバーで気持ちを新たに皆さんの活動を支えて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

石教研音楽部会

部長 小原 砂織

2020 年度役員紹介



- <部 長> 江別市立江別太小学校 小原 沙織
- <副部長> 当別町立西当別中学校 笹谷 直之
- <事務局長> 北広島市立双葉小学校 松本 亮子
- <事務局次長> 千歳市立千歳第二小学校 島田 洋輔
- <小学校研究員> 北広島市立緑ヶ丘小学校 高田 紅花
- <中学校研究員> 石狩市立樽川中学校 中野 いづみ
- <教育課程研究員小学校代表> 江別市立豊幌小学校 高橋 恵
- <教育課程研究員小学校> 江別市立豊幌小学校 吉田 悟実
小野田 靖
- 江別市立大麻東小学校 今井 千裕
- 江別市立大麻西小学校 稲尾 郁
- 江別市立北光小学校 阿部 郁
- <教育課程委員中学校代表> 北広島市立東部中学校 小野寺沙耶子
- <教育課程委員中学校> 北広島市立大曲中学校 渡辺 裕子
千歳市立向陽台中学校 清水 明子
- <千教振推進委員> 千歳市立勇舞中学校 梅田 真由美
- <恵教研推進委員> 恵庭市立恵庭小学校 牛渡 聖子
- <広教研推進委員> 北広島市立大曲中学校 渡辺 裕子
- <江教研推進委員> 江別市立江別第二小学校 小笠原 晴美
- <当新研推進委員> 当別町立西当別小学校 弥勒院 瑞枝
- <石教振推進委員> 石狩市立花川小学校 寺元 麻美

宜しく申し上げます。